



平成 29 年 11 月 14 日

各 位

会社名 株式会社 エスエルディー
 代表者名 代表取締役社長 CEO 伴 直 樹
 (コード: 3223 東証 JASDAQ スタンダード)
 問合せ先 IR室室長 石 渡 麻 美
 (TEL. 03-6277-5031)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 3 月期第 2 四半期において、下記のとおり固定資産の減損損失を特別損失に計上するとともに、平成 29 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期業績予想を、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

一部の収益性が低下した店舗につきまして、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき固定資産の回収可能性を検討した結果、減損損失 215 百万円を特別損失に計上することといたしました。

2. 業績予想の修正について

(1) 平成 30 年 3 月期業績予想数値の修正(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,556	百万円 41	百万円 41	百万円 22	円 銭 17.51
今回修正予想 (B)	5,169	△ 6	△ 6	△281	△214.96
増 減 額 (B-A)	△387	△47	△47	△303	
増 減 率 (%)	△7.0	—	—	—	
(参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	5,505	△58	△41	△171	△131.05

(2) 修正の理由

飲食サービスにおきましては、当第 2 四半期において既存店舗の業況改善を図ることを優先するものとし、新規出店は実施しておりません。具体的には、業態別グランドメニュー改正、個店ごとにおける期間限定メニューの販促企画の見直し、新業態店舗の認知度向上施策等を実施いたしました。

しかしながら、既存店舗は依然として減収傾向にある中、第 1 四半期までの閉鎖店舗及び新規出店見送りに係る減収が加わり、引き続き厳しい状況が続きました。

また、経営体制の変更を予定していた中、営業体制及び店舗運営方針の見直し、全社的な業務フロー

及びシステムインフラの最適化を順次進める一方で、上記飲食サービスにおける減収影響に加えて、一部の業績不振店舗につき固定資産の回収可能性を検討した結果、減損損失 215 百万円を特別損失に計上したことから、通期において当初予想数値の達成は難しいと判断し、業績予想を修正することといたしました。

(注) 本資料に記載されている業績予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以 上